

## 栄養法の相違による未熟児の壊死性腸炎発生率の差について

分担研究者（国立岡山病院 小児医療センター） 山内 逸郎

研究協力者（       "                       "       ） 五十嵐 郁子

### 研究目的：

凍結生人乳による哺育が、未熟児の壊死性腸炎を予防しうるか、否かを、検討した。

### 研究方法：

国立岡山病院未熟児施設で保育した出生体重 1,500g 以下の未熟児総保育例で、人工栄養法によって哺育していた 1965 年より 1972 年までの 8 年間と、人乳によって哺育した 1973 年より 1976 年までの 4 年間とについて、壊死性腸炎の発生例を調査した。

壊死性腸炎の診断は、便性、腸閉塞症状、腹部 X 線所見、あるいは剖検所見によった。

### 研究成績：

人工栄養期の 8 年間に、1,500g 以下の未熟児 254 例のうち、4 例の壊死性腸炎を経験したが、人乳栄養期の 4 年間に、1,500g 以下の未熟児 168 例のうち、壊死性腸炎は 1 例もみられなかった。1,501g 以上の未熟児にはなかった。

壊死性腸炎の 4 例は、出生体重では 910g、1,130g、1,380g と 1,500g で、在胎 31 週 3 例、不明 1 例であった。臍帯動脈に、カテーテルを留置していた例はない。全例授乳開始後に発症した。手術例はない。4 例とも死亡し、2 例に剖検がおこなわれた。

### 考按：

母乳栄養が壊死性腸炎を予防するのではないかという考へは、Columbia 大学の Santulli 一派によって提唱されて以来、大いに注目されている。しかしこれは動物実験から得たものであって臨床的実証を欠いていた。今回の我々の成績は、彼等の考へを支持するものである。

### 結論：

人乳哺育は壊死性腸炎の発生を防止する。

↓  
**検索用テキスト** OCR(光学的文字認識)ソフト使用  
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります  
↓

研究目的:

凍結生人乳による哺育が,未熟児の壊死性腸炎を予防しうるか,否かを,検討した。

研究方法:

国立岡山病院未熟児施設で保育した出生体重 1,500g 以下の未熟児総保育例で,人工栄養法によって哺育していた 1965 年より 1972 年までの 8 年間と,人乳によって哺育した 1973 年より 1976 年までの 4 年間とについて,壊死性腸炎の発生例を調査した。

壊死性腸炎の診断は,便性,腸閉塞症状,腹部 X 線所見,あるいは剖検所見によった。